

回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第 10 号	令和6年5月 13 日	伊予市役所	市民福祉部 長寿介護課
題 目(テーマ):伊予市シルバー人材センターのイノベーションについて			
提 案 理 由(要旨)			
現在、日本国は超高齢化社会に突入していると言われています。自分の地域内でも半数以上が高齢化している。この先、10年後はどうなっているだろう。私含め、その地域に住んでいる人々が豊かに暮らせるには何をどうすれば良いのだろうか。自身は 4 月17日23時14分の豊後水道震度6弱発生で危機意識が高まっている中、サロン等で「いつやってくるか判らない大地震の備え」の講演会等を開催し、高齢者含め、地域住民の「生の声」を聞き、フォローアップもしている。この生の声を活用したのが市長も確認して頂けるのが目安箱です。環境・防災関連を中心とした案件を約1か月で7件提出しました。他にも、高齢者からの声が高かったゴミ出し問題や避難した場合の準備対応大丈夫か等の課題もあり、関係課に書面で発行しています。 以上の様な課題は行政職員には負担が大きすぎます。私の考えとしては実行役はシルバー人材センターがやるべき業務だと思います。先月、シルバー人材センターがやるべき業務だと思います。先月、シルバー人材センターを訪問すると現在、清掃と草刈りしかないと言われ退室しました。私含め、専門的なスキルをもっている人や日々トレーニングし元気で働きたい高齢者がいます。その人達に声をかけ、新たな業務にも取り組むべきと考えます。それらに取り組むことにより、シルバー人材センターの活性化から、地域の活性化に繋がると考えます。			
回 答 内 容			
この度は貴重なご提案をいただき、ありがとうございます。シルバー人材センターにつきましては、「高年齢者の雇用の安定等に関する法律」に基づき区市町村ごとに設置されている公益社団法人であり、その業務は、企業や個人、公共団体などから依頼される高齢者にふさわしい仕事を会員に適時紹介し、請け負う会員を探し、適切にマッチング(一致する)させることにあります。 従いまして、請け負うかどうかは会員自身の判断であり、せっかく依頼があっても請け負う会員がいなければ、やむを得ずお断りすることになります。近年は、定年延長等の社会情勢の変化とも相まって会員が一層高齢化し、現状 178 名の登録会員の内、実際に業務を請け負った会員は半数以下であり、担い手の拡充は喫緊の課題となっております。 一方で、シルバー人材センターの理念は、経験と知識を活かしながら相互に協力し働くことで、高齢者(会員)が生きがいを得ると共に地域社会の活性化に貢献することにあります。地域が求め、必要とされる新たな業務についても、会員に積極的に情報提供し、実施に向け適切に努める責務があります。 本市としましては、この度のご提案を真摯に受け止め、公益社団法人シルバー人材センターの業務の在り方をはじめ、組織の事務改善につながるよう適時適切に助言してまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。			